

小学生(中学年)向け



『アマミホシゾラフグ』

江口絵理/ぶん 大方洋二/しゃしん 友永たろ/え
ほるぷ出版 ¥1,300 (税別)

海の底に、直径2メートルもある不思議な模様の「ミステリーサークル」を発見。そのサークルの主は新種の魚で、手のひらほどの大きさのフグ「アマミホシゾラフグ」。見事なサークルの作り方やその目的など、謎の生態を写真で紹介する。



『すばこ』

キム・ファン/文 イ・スンウォン/絵
ほるぷ出版 ¥1,500 (税別)

約100年前のドイツで、鳥が好きなベルレプシュ男爵は、鳥が安心して子育てできるように、森に巣箱をかけた。ある時、害虫が大発生し木が枯れたが、男爵の森は無事だった。世界中に広まった、巣箱のルーツを紹介した絵本。



『どうなっているの?だんめん図鑑』

断面マン/製作・監修
小学館 ¥1,300 (税別)

断面マンが、身近にあるあらゆる物を真っ二つ!炊飯ジャーからLEDの電球、サッカーボールなど様々な物の断面が見られる。断面から見る構造は立体的でわかりやすく、「ここはこんな風になっていたのか!」という発見が楽しい1冊。



『となりに生きる動物たち』

共同通信社写真部/著
講談社 ¥1,500 (税別)

私たちの身近に生きる様々な動物たち。その生活を写真で紹介する。撮影をしたのは、普段、事件の現場を写す報道カメラマンたち。彼らだからこそこの視点でとらえた、動物の決定的瞬間を見ることができる。



『干したから...』

森枝卓士/写真・文
フレーベル館 ¥1,400 (税別)

干した食べ物といえば、切干大根に干し柿、するめ…。「干したものは」世界中にあるという。どうして干すの?干すとどうなるの?この本を読んだら、あなたも干してみたくなくなるかもしれない。



『目の聞こえないメジャーリーガー ウィリアム・ホイ』

ナンシー・チャーニン/文 ジェズ・ツヤ/絵 斉藤洋/訳
光村教育図書 ¥1,400 (税別)

耳に障害を持つウィリアム・ホイの伝記絵本。聞こえないことで味わう苦労が描かれると共に、それに対応していく彼の前向きな思考が、明るい色彩の挿絵にびたりと重なる。審判のジェスチャーやサインは彼が提案し、試合のやり方を変えた。



『ライオン1頭』

ケイティ・コットン/文 スティーブン・ウォルトン/絵 木坂涼/訳 岩城義人/訳
BL出版 ¥2,500 (税別)

野生動物が白黒の線で力強く、写真のように精巧に描かれている。1から10までの動物の数を数えながら、絶滅が危惧されている動物たちの生態がわかる。迫力があり、暖かみのある絵も楽しめる大型絵本。



『笑われたくない!』

手嶋ひろ美/作 大庭賢哉/絵
文研出版 ¥1,200 (税別)

手足が不自由な結花は、思うように行動ができない。だからこそ、人一倍笑われたくないと思っている。ところが、クラスで二人羽織をすることになり、「笑われてこそ大成功じゃないか」という言葉に葛藤する。作者自身の体験から生まれた成長物語。

その他のおすすめの本

- 『蒼とイルカと彫刻家』
長崎夏海/作 佐藤真紀子/絵 薬師寺一彦/協力 佼成出版社 ¥1,300 (税別)
- 『おおふじひっこし大作戦』
塚本こなみ/文 一ノ関圭/絵 福音館書店 ¥1,300 (税別)
- 『お月さまのこよみ絵本』
千葉望/文 阿部伸二/絵 理論社 ¥1,400 (税別)
- 『数ってどこまでかぞえられる?』
ロバート・E.ウェルズ/さく せなあいこ/やく 評論社 ¥1,400 (税別)
- 『こぶたものがたり』
中澤晶子/作 ささめやゆき/絵 岩崎書店 ¥1,300 (税別)
- 『三年一組、春野先生!』
くすのきしげのり/作 下平けいすけ/絵 講談社 ¥1,300 (税別)
- 『水晶玉を見つめるな!』
赤羽じゅんこ/作 藤川努/絵 講談社 ¥1,400 (税別)
- 『世界一の三人きょうだい』
グードルン・メプス/作 はたさわゆうこ/訳 山西ゲイイチ/絵 徳間書店 ¥1,400 (税別)
- 『のんびり村は大さわぎ!』
アンナレーナ・ヘッドマン/作 菱木晃子/訳 杉原知子/絵 徳間書店 ¥1,400 (税別)
- 『ひまなこなべ』
萱野茂/文 どいかや/絵 あすなろ書房 ¥1,400 (税別)
- 『ファール先生の昆虫教室』
奥本大三郎/文 やましたこうへい/絵 ポプラ社 ¥1,800 (税別)
- 『星になった子ねずみ』
手島悠介/作 岡本颯子/絵 講談社 ¥1,200 (税別)